

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の次期中長期目標（案）に対する
気づき点とコメント

2021/11/5

名古屋大学 山本章夫

1. 「安全性向上等の革新的技術開発によるカーボンニュートラルへの貢献」と「原子力科学技術に係る多様な研究開発の推進によるイノベーションの創出」については、研究や取り組みの内容が重なる部分があると思われます。それぞれを担当する部署が異なるということでしょうか。どのように仕分けを行うのか、あるいは相互連携を行うのか、補足説明をお願いいたします。
2. 定量的モニタリング指標の選び方について、考え方を補足説明してください。特に、外部発表件数、論文発表数の違い、これらが定量的モニタリング指標に入っている項目とそうでない項目の違いについてご説明ください。項目1など、外部との連携については、「共同・受託研究件数、及びその成果件数」がモニタリング指標に入っていますが、件数は少なくても規模が大きい(～受託金額が大きい)研究を重視するための指標は不要でしょうか。
3. JAEA が原子力技術の基礎基盤を担う性格をより明確にするのであれば、例えば解析コードなど、所有技術の提供件数、外部からの問い合わせや相談に関する対応実績等についても定量的モニタリング指標としてはいかがでしょうか。
4. JAEA は国内唯一の原子力技術に関する巨大な研究開発法人です。そのため、種々の国内会議、国際会議、関連学会活動など、研究コミュニティ活動への貢献が期待されます。定量的モニタリング指標にこのような項目を入れるべきではないでしょうか。
5. DX を進めるにあたり、github など様々なクラウドサービスを使用することは必須になりつつあると思われます。情報セキュリティを確保しつつ、よりよいデジタル技術の導入を加速する必要があることを記載すべきではないでしょうか。

以上